

# デイトン市姉妹都市提携50周年！

## 歓迎レセプションを開催

かつて町にあった日本NCR株式会社の本社がデイトン市にあることがきっかけとなり、1968年（昭和43年）に姉妹都市提携がスタートし、市民レベルの交流を積み重ねてきました。今年が姉妹都市提携からちょうど50年の節目となる年です。

デイトン市から来磯された、デイトン市長夫妻をはじめ、シティーマネージャー夫妻、姉妹都市協会会長、そして3人の高校生を迎え、7月23日（月）に大磯迎賓館で行われた歓迎レセプションでは、これまでの両市町の結びつきと、再会を共に祝

い、両国の更なる友好関係を構築しました。

また、7月21日（土）から7月31日（火）までの約2週間、デイトン市の高校生3名は町内のホストファミリー宅に滞在して、嶋立庵や旧吉田茂邸の見学、着物の着付けやお花の体験、盆踊り大会など、多くの日本の文化や大磯の歴史に触れました。また、地域の行事にも積極的に参加し、多くの町民との交流を深め、大磯での夏の思い出づくり、帰国されました。



▲ナン・ホエーリー市長（左から6人目）から、両市町の友好を願って描かれた絵画などが贈呈されました。



▶3人の高校生は、ゆかたを着て盆踊りを楽しみました。



問 総務課 内線2008  
町国際交流協会事務局  
☎ (61) 0296 (柳田宅)

## 町長が走る!!

### 大磯町指定無形民俗文化財 御船祭

7月14日（土）、15日（日）の両日、大磯町無形民俗文化財に指定されている御船祭に参加しました。

14日（土）に行われた宵宮では、お囃子を演奏している子どもたちを乗せた車が、軽快な太鼓の音を響かせながら町内を回り、夕方の大磯駅前では地区の神輿が集まり、賑わいをみせておりました。

15日（日）の本宮では、故事に伝わる漁師の漁船を模した山車が、轆やくくりざるで華やかに飾られた姿で曳かれ、その豪華な舟形山車の姿を多くの観光客の方々が足を止め、カメラに収めておりました。

神社での神事を終えた神輿は、照ヶ崎に浜降りします。各地区の神輿は、威勢よく「どっこい、どっこい」の掛け声と木遣唄が唄われ、担ぎ手の方々の迫力に圧倒されてしまいました。

昼から始まった式典は、子どもの巫女による浦安の舞の奉納で無事終了し、集まった多くの観光客の方々はその七〇〇年余りの歴史ある御船祭を楽しんでおられました。

今後大磯の伝統ある数々の行事が継承されていくことを願っております。

大磯町長 中崎 久雄